

SHINCHI 新地 2

広報



伝統文化の再興

新地町復興計画

が決まりました

新地町復興計画は1月23日の第7回復興計画策定委員会において原案を適当と認める意見をいただいたことから、1月24日の町復興計画策定本部会議で計画を決定しました。

策定委員会では、昨年7月から調査・研究を始め、昨年10月に決定した復興構想をもとに、主要施策や重点事業について話し合いを重ねてきました。

今回は、3つのテーマに基づく主要施策についてご紹介します。

安心・安全なまちづくり

THEME. 1
今回の震災、特に津波による被害は想定をはるかに超えるものであり、町内に甚大な被害をもたらしました。

◎災害に備える

震災からの復興にあたっては、このような自然災害に対しても、町民が安心して生活できることを基本とし、滅災の理念に基づく「安心・安全なまちづくり」に取り組みます。

また、福島第一原子力発電所の事故は、本町にも様々な被害を及ぼしており、安心・安全に暮らしていくために、原子力災害の克服に取り組みます。

で、4車線化を要望していきます。各種復旧、復興事業の進捗にあわせて町道のカーブミラーの整備、防犯灯の整備を行います。

また、今回の被災体験を後世に語り継ぎ、教訓として活かしていくために、小中学校や生涯学習における防災教育の展開や、震災記憶を大地に刻む事業（公園緑地、慰霊の丘等）を展開します。

救急医療については、公立相馬総合病院との連携を強化するとともに、民間救急医療機関の移設・開設をめざします。

◎土地利用

今回の地震及び津波被害を教訓として、ハード面では防災施設の復旧、水害や津波遡上等に対して必要な河川改修、二線堤となる道路の整備、避難路としての東西道路の整備、踏切の立体化等により町の安全性を高めるとともに、ソフト面では住民による自主防災組織の活動充実や、被災時にも利用可能な情報通信体制の確立、地域防災計画の見直しなど、ハード・ソフトのバランスの良い防災まちづくりを推進します。国道6号については、災害時の避難道路・緊急用道路とし

津波により家屋が完全に流失するなど危険の著しい区域については、災害危険

区域の指定を行い、居住用建物の建築制限を行います。

海岸部については、自然災害に対する「減災」という考えにもとづき、海岸公園緑地及び二線堤の機能を備えた（仮称）復興道路の整備等による多重防御を施します。

被災した集落のために安全な場所に新たな住宅団地を造成します。津波復興拠点整備事業、新地駅周辺の土地区画整理事業の見直しなどの検討を行い、災害に備えた土地利用を図るとともに、海・里・山と河川や公園緑地がネットワークする土地利用を実現します。

「R常磐線については、まちづくりと連動する早期の復旧を要請します。

また、新たな移転集落の形成には、夏の海風に恵まれ、冬の山風に対して「い

ぐね」を備えるなど、それぞれの集落にふさわしいまち並み形成と環境共生型の土地利用の工夫を行います。

災害廃棄物は、可能な限り再資源化を図ります。

なお、防災集団移転促進事業等による新たな集落形成のために、復興特区によるスムーズな土地利用転換を図ります。

◎原子力災害の克服

本町は、放射性物質汚染対処特別措置法にもとづき、汚染状況重点調査地域に指定されました。除染計画を策定し、誰もが追加年間積算線量を年間1mSv以下とする取り組みを行います。農産物の安全確保に向けては、モニタリングと公表を行うとともに、町の除染計画にもとづき確な

対策を行います。安心して漁のできる漁場環境の早期復旧に向け、モニタリングの詳細化や、水揚げ魚介類の放射性物質の測定システムの導入などを関係機関に働きかけます。

放射性物質に汚染されたおそれのある廃棄物の処分については、国に代行を要

THEME. II 仕事の復興

農地の浸水、漁港の損壊、風評被害を含めた事業所の被災など、本町の産業は、震災によってこれまでにない大きな打撃をうけました。

「仕事の復興」は、町民が生活をしていく上で基本となるものであり、特に若い世代にとっては働く場の確保が定住の大きな条件となっ

ています。原子力災害の賠償については、関係機関と連携し完全に実施されるよう国及び東京電力（株）に要請します。

また、子供の健康不安やメンタル面での不安の解消のために、定期的な健康診断や健康相談の機会を充実

農業や漁業など既存産業の復興を図るとともに、自然再生エネルギーの活用や町民と都市住民等とが交流するグリーンツーリズムやブルーツーリズムなど、新たな産業の創出に取り組み

◎農業の復興

被害を受けた農地につい

ては、復興組合を通じて除

塩やヘドロ除去などの除塩対策工事を進めるとともに、被害の程度に応じ農地復旧工事（災害復旧＋除塩工事）を行います。特に被害の大きい農地については、再ほ場整備で災害復旧工事を行います。排水機場の復旧及び排水路の整備を計画的に行い、農業経営再開に向けた支援に取り組みます。

畑作などについては、温暖な気候を活かした花卉、果樹・施設園芸の展開やニラ、イチジクなど特産品を生かした6次産業化、さらに低炭素・省エネルギーによる大規模野菜工場の誘致など新地町の新たな農業復興に向けた取り組みを推進します。

相双地域住民などの就農希望者を集落で迎え入れることを支援するなど、担い手の確保のための都市・農村交流や、グリーンツーリズム拠点形成を展開します。

◎水産業の復興

壊滅的な被害を受けた釣師浜漁港については、漁港及び製氷施設、荷さばき場などの共同利用施設の復旧を図るとともに、新たにプレジャーボート係留施設や海に親しむことのできる施設の整備を要請します。

漁港後背地等においては、今後の漁業を見据えた

水産研究施設等の誘致を図るとともに、水産関連企業や海の幸を楽しめる宿泊施設・レストラン等の再建・誘致に努め、海のあるまちにふさわしい漁港みなとまちプロムナードの構築をめざします。

カレイなど特産品を生かしたの次産業化に向けた取り組みを推進します。

漁具等が流出した漁業者に対しては、漁業再開支援に取り組みとともに、漁港環境の改善を図るため、新たに遊漁船や陸上養殖などに取り組む、チャレンジ漁業の展開を推進します。

◎商工業の復興

店舗や倉庫を流出した事業所に対して、事業活動再開に向けた取り組みの一環として仮設施設（店舗・工場）の整備、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業等を行ないました。今後も、新地町商工会等関係機関と連携して経営再建に

向けた支援に取り組みます。

JR常磐線の復旧に伴い、新たな新地駅を町の玄関とする店舗等事業所の商業集積を図ります。

常磐自動車道新地インターチェンジの供用開始に伴い立地条件が改善するIC周辺地域では、新規企業誘致を進めるとともに、原子力災害によって活動が困難な相双地域における事業所の受け皿として支援を図ります。

釣師浜海水浴場や海釣り公園の早期の再開をめざします。

◎勤労者への支援

震災によって企業活動が制限され、就業者に対しても就労の一時停止や従業員解雇などもみられます。津波や原子力災害の影響で働く機会を失った方に対しては「がんばろう福島」絆づくり応援事業等を活用し、当面の仕事を確保すると

もに、研修の機会提供など就労確保に対するきめ細かな相談体制づくりを行います。

◎新たな産業の創出

相馬共同火力発電所の1・2号機については完全復旧の見通しとなりまし。環境に配慮した3・4号機の増設については引き続き早期の実施を要請します。また、太陽光発電、バ

イオマス発電など再生可能なエネルギーの創造に取組み『ハイブリッドな発電のまち』をめざします。

さらに、コンパクトにまとまった町域の中に、海、里、山がある恵まれた自然環境を活かした観光・レクリエーションの振興、新たな特産品の開発など産業の創出を促進します。また復興に向けたコミュニケーションビジネスの支援を行います。

THEME. III 住宅・暮らしの復興

震災では約600の住宅が全・半壊し、

JR常磐線や主要地方道相馬亘理線が流されるなど、町の骨格が崩壊したといっても過言ではありません。また、津波の恐ろしい体験や、住宅を失ったこと等による慣れない生活が、町民の心身に様々な悪影響を及ぼしているものと考えられます。

被災を受けたJR常磐線

や主要地方道相馬亘理線については、早期復旧のみならず、暮らしを守り活力がでるような公共基盤として復興をリードすることを期待します。被災を乗り越え、安心して住み続けることができる環境づくりと、町の利便性を増すことにより、町民の定住条件を確立します。

◎社会経済基盤の復興

JR常磐線や、主要地方

道相馬亘理線など、本町の骨格となる道路・交通体系が大きな被害を受けました。また、海岸堤防、河川、道路、下水道や情報通信基盤なども被害を受けたことから、ガレキ処理とともに、社会基盤の早期復旧に取り組みます。

また、本町の新しい将来像に向けた復興となるよう、関係機関との協議のもと、都市の骨格をなす道路や鉄道等の復興を図ります。新たな住宅団地を結ぶコミュニティ道路の整備を行います。

常磐自動車道早期開通とこれを利用した高速バス路線の運行、東北中央自動車道（相馬・福島間）の早期建設を要請します。

◎住宅の建設・取得の支援

住宅を失った方々の、安

全性の高い土地における集団での住宅建設を促進するため、防災集団移転促進事業に取り組みます。

また、集落内で移転する場合や既存住宅の修復など、自力再建に対する支援も行います。様々なニーズに応える相談体制を充実します。

原子力災害で長期避難せざるをえない相双地域住民の移転希望に対応する住宅再建支援も行います。

◎公営住宅の整備

多くの住宅が流出し、住まいの再建が急がれていますが、高齢者のみ世帯が増えるなど住宅再建が困難な世帯もあることから、安定した居住空間を確保するために、災害公営住宅の整備に取り組みます。

仮設住宅への入居と同様に、公営住宅についてもコミュニティに配慮した配置を検討します。

◎保健・医療 介護・福祉の充実

住宅移転等による慣れない生活のためにおこる健康

への悪影響を防ぐため、要援護者の見守りネットワークを充実するとともに、社会福祉協議会や民生委員と連携し、見守り・訪問活動

の強化やサポート体制の充実など、保健や介護・福祉面での取り組みの充実を図ります。このため、地域の専門スタッフのみならず、ボランティアや外部の人材による見守りなど、きめ細やかな取り組みを検討します。仮設住宅においては、サポートセンター「まごころ」を活用し、包括的な福祉活動を展開します。被災した高齢者のみ世帯や一人暮らし高齢者のための被災高齢者共同住宅を建設します。

保育所及び児童館では子どもの心のケアに取り組みます。

地域医療の維持を図るため、相双医療圏内から当町に移設を計画する病院・クリニック等の整備、復旧を支援します。

特別養護老人ホーム、グループホームなどの福祉施設及び病院・クリニック等の医療施設の整備、復旧を支援します。

◎教育の充実・文化の復興

防災教育の充実と本町の学校教育の特徴であるICT教育のさらなる充実に努め、災害に対して強い人材の育成と情報活用能力の育成を図ります。

震災により児童や生徒が受けた心の傷を癒すためスクールカウンセラーの増員を要請します。

各小・中学校に防災機能を備えた太陽光発電及び蓄電池を設置し、エコ環境教育に取り組みます。

就学困難な家庭に対する支援など、教育機会の確保に努めます。

また、震災により逸失した観海堂の再整備を検討します。集落移転等に伴う新たな地域コミュニティにおける伝統芸能などの地域文化の再興を支援します。

◎スポーツの振興

元気な子どもの育成、町民の健康づくりや、レクリエーションの場として、スポーツ施設の早期修繕を図ります。

また、積雪が少なく温暖な気候を活かして、一年を通じて屋外で活動できる、サッカー場などのスポーツ施設やオートキャンプ場の整備を図り、町民はもとより福島県民、仙台市民等とのスポーツ交流に努めます。また、健康づくりと都市・農村交流の相乗効果を期待し、将来的には海・里・山の町中を巡るウォーキングコースを設定し、「新地ウォーク大会」や「新地トライアスロン」などの開催をめざします。

来都市に選定

町では、政府が地方自治体による省エネルギー化や高齢化対策の先進的な取り組みを資金面で後押しする「環境未来都市構想」に提案書を応募していました。

昨年12月22日、政府の新成長戦略実現会議分科会において、新地町が正式に選定されました。

「環境未来都市」構想とは、平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」において、21の国家戦略プロジェクトの一つに位置付けられています。

限られた数の特定の都市・地域を環境未来都市として選定し、そこで、環境や超高齢化等の点で優れた成功事例を創出し、それを国内外に普及展開することで、需要拡大、雇用創出等を目指すものです。

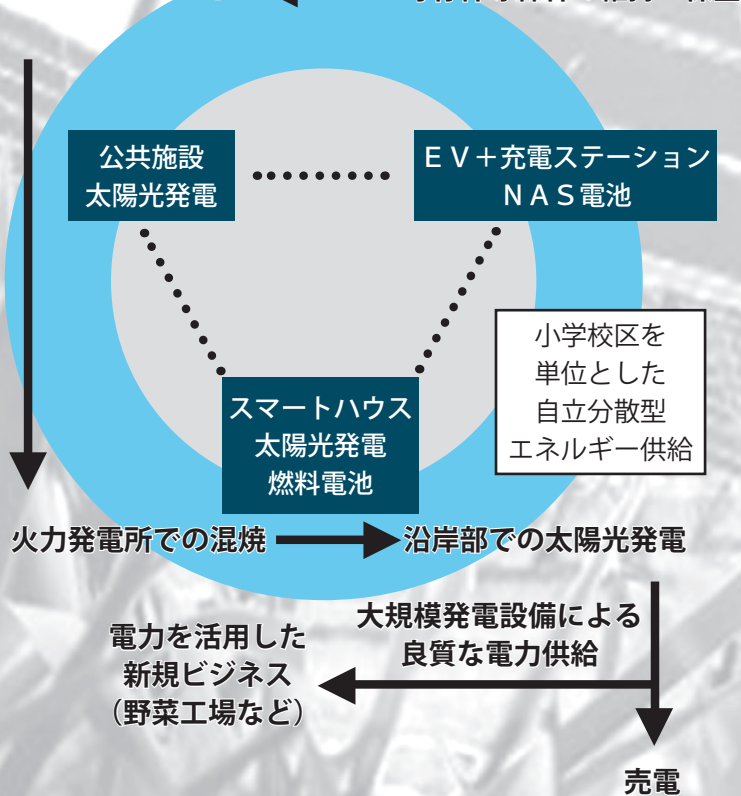
環境・超高齢化への対応

環境未来都市構想に提案

【環境への対応】低炭素・省エネルギー

- ・太陽光発電施設（メガソーラー）
- ・バイオマス発電・熱供給
- ・小中学校を核とした地域分散
- ・自立型電力供給システムの構築
- ・大規模野菜工場

間伐材のチップ化 ← 町有林等森林の維持・保全



将来ビジョン

2050年の将来像として、新地に生まれ育った住民や、新たに移住した住民、さらには新地を訪れる人々は、この地の豊かな自然、暮らし、人のつながりを通じて得られる豊かさを実感し、「やっぱり新地がいいね」という言葉を口にしていくようなまちをめざします。

①自然と共生する海のあるまち

火力発電所およびメガソーラーの整備を完了し、町内及び周辺地域への安定的な電力供給を達成するとともに、新たな産業創出を実現します。

②人の KIZUNA（絆）を育むまち

オンデマンド交通や高度情報通信網の整備により、住民の生活支援に資する新たなサービスが生まれ、これと連携しながら高齢者の社会参加を支援する人のつながりを育みます。

③命と暮らし最優先のまち

将来想定される津波に耐えられるまちとしての基盤整備を完了するとともに、防災体制を確立します。

環境未



野田佳彦内閣総理大臣から加藤憲郎町長へ選定証が手渡されました。

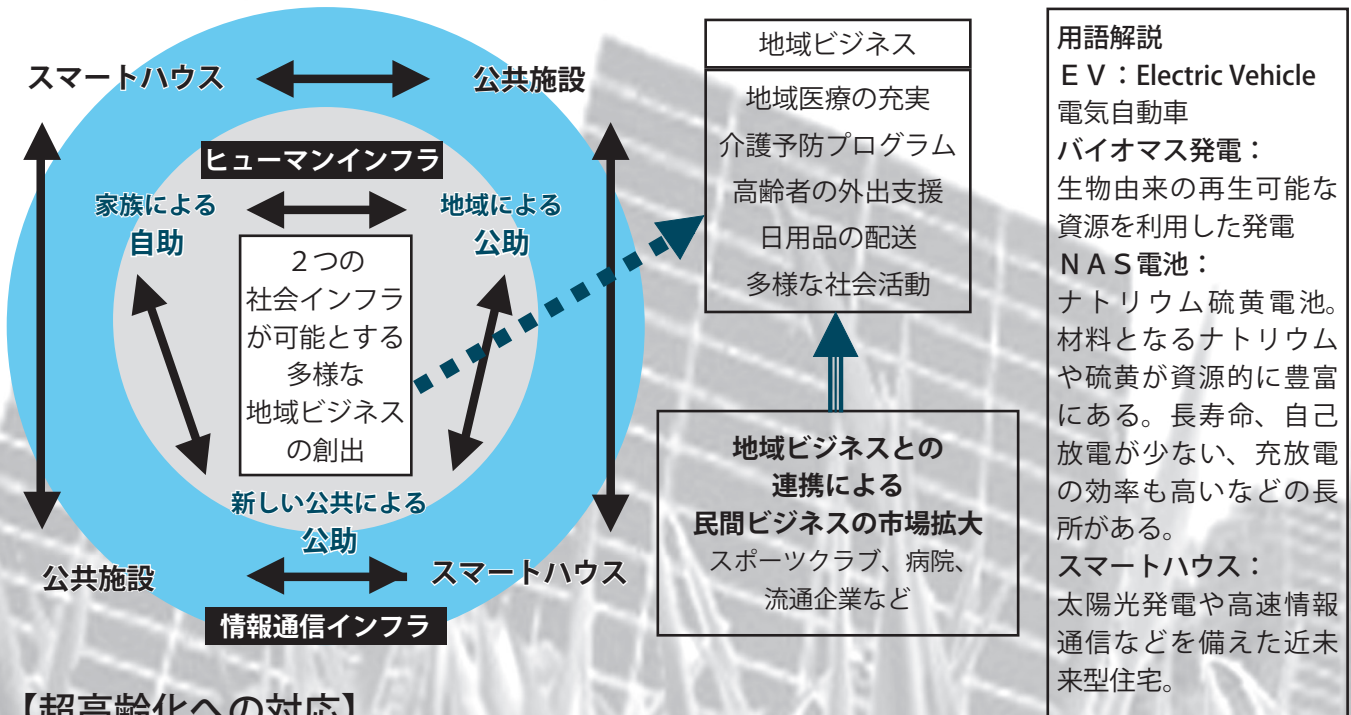
した取組は、町の復興計画との整合性を図って、その事業費は今後5年間にわたり国において財源が確保されます。

また、復興特区として土地利用再編手続きの一元化や必要となる税・財政・金融上の支援が受けられるなど、復興へ向けた各事業の推進が期待できます。

今後は、構想に掲げた「環境や超高齢化」対応施策の推進に向けて、鋭意取り組みを進めていきます。

低炭素・省エネルギーの実現に向けては、太陽光発電設備の設置を中心に、EV（電気自動車）の活用、バイオマス発電などを推進します。

超高齢化社会への対応に向けては、高速情報通信ネットワークや情報通信端末などの情報通信インフラと、自助、共助、公助からなるヒューマンインフラによるさまざまな地域ビジネスの創出をめざします。



【超高齢化への対応】

地域の介護・福祉

- ・オンデマンド交通システムの高度化
- ・オンデマンド交通のEV化
- ・地区毎の充電ステーションの配置
- ・地域内の情報基盤の整備
- ・新たな情報端末の利用による地域情報の発信

主な数値目標（10年後の目標値）

- ・本町内の電力需要に対する自然エネルギーによる電力自給率（0%⇒100%）
- ・木質バイオマスのエネルギー利用量（0万トン⇒20万トン）
- ・公共施設や住宅のエネルギー自給率（10%以下⇒約60%）
- ・タブレット型情報端末の普及（412台⇒約2,500台）
- ・地域のコミュニティビジネスの状況（若干名⇒約400人）



平成24年新地町成人式が1月8日、農村環境改善センターで開かれ、新成人110名が晴れの日を迎えました。

式に先立ち、出席者全員で、震災で犠牲になった方々へ黙祷を捧げました。

式では、コールしおさいのみなさんのリードで、国歌斉唱、新地町の歌をうたいました。

加藤町長が式辞を述べ、新成人を激励し、齋藤勝利県議会議員と目黒静雄町議会議長からそれぞれ祝辞が送られました。

また、加藤町長から岡崎直斗さんに記念品が手渡されると、新成人を代表して布施美咲さんが謝辞を述べました。

このほか、ミヤギテレビ『OH! バンデス』などでおなじみの高橋佳生さんによる記念ライブコンサートが行われ、会場を盛り上げました。



成 希 望 胸 に 式



まちの話題



復興へ向けて

明治大学と復興支援協定を締結

町では1月26日、震災からの復興に向けて、明治大学と復興支援に関する協定を結びました。

これは、地域の担い手となる人材育成や大学が提案する政策、研究を町が有効に活用し、復興につなげることを目的としています。

協定の調印式は、明治大学で行われ、加藤憲郎町長と納谷広美学長がそれぞれ協定書に署名し、調印を交わしました。

新地町 ICT活用発表会

ICTの先進地として

新地町 ICT活用発表会が1月27日、町内3小学校で開かれました。

町では、昨年度からタブレット型パソコンや電子黒板などのICT機器を活用した授業を小学校で行っており、ICT活用の先進地として、全国から注目を集めていました。

今回は、その授業の様子を全国の教職員や教育委員会、学校関係者などに紹介するため、発表会を行いました。

発表会には、全国から約240名の方が訪れ、機器を使った授業の様子を見学しました。

また、町内の教職員とICT支援員によるパネルディスカッションも行われ、成功事例や経験談、課題などが報告されました。



上：パネルディスカッションに多数の参加者

左：授業で活用されているタブレット型PC



平成24年新地町消防出初式 防災の誓い新たに

新地町消防出初式が1月8日、尚英中学校体育館で行われ、消防団員や女性消防隊員など約300名が出席しました。

式では、震災活動に対する功績が称えられ、新地町消防団に総務大臣表彰が贈られたほか、町消防団長表彰、県消防協会相馬支部長表彰などが行われました。

鹿狼山元旦登山 希望の一年に

鹿狼山元旦登山が平成24年元旦に行われ、多くの登山者が訪れました。

山頂では、まばゆい光の太陽が東の空に見えると、登山者から歓声があがりました。

また、麓では杉目地区のみなさんやアイラブしんちサークルのみなさんにより、さまざまな催しが行われ、希望の一年の幕開けを盛り上げました。



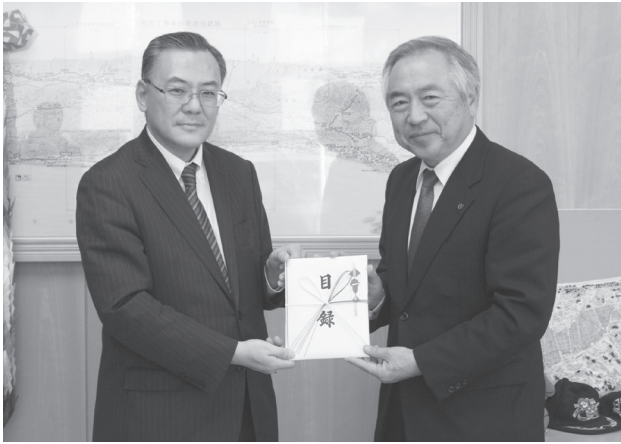
福島県広報コンクール 広報しんちが特選に

第57回福島県市町村広報コンクールで「広報しんち」が広報紙（町村の部）と写真（一枚写真）の各部門で特選に輝きました。

特選に選ばれたのは、昨年7月5日号で、震災後始めて通常どおりの印刷で発行ができたものです。

同じく写真は、同号に掲載してあるもので、5月に総合運動公園で行われた復興イベントでの一場面を撮影したものです。

なお、この広報紙と写真は、福島県代表として全国広報コンクールに出品されます。



井郷理史社長（左）と加藤憲郎町長

食品の安全を確かめる スクリーニング検査機器

株式会社福島ニチアス（新地北工業団地内）より、食品のスクリーニング検査機器『トリアスラーベクレルファインダー』など2式が町に寄贈されました。

町では、これまで使用していた1台に加え、3台体制とすることで、正確性を高めた検査の実施につとめます。



寄贈された検査機器



加藤町長に洗浄機を手渡す新地ライオンズクラブのみなさん

高圧洗浄機を除染作業に活用

新地ライオンズクラブより、除染作業のための『高圧洗浄機』3台が町に寄贈されました。

水戸誠会長から加藤憲郎町長に洗浄機が手渡されると、加藤町長は「有効に活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

町では、洗浄機を町内の3保育所に設置し、施設の除染作業に活用します。

このたびの東日本大震災で被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

ニチアスの子会社である福島ニチアスにつきましては、1988年の創業以来、新地町及び近隣の地域の皆様に、大変お世話になっております。

今回の震災で福島ニチアスも若干の被害を受けましたが、関係する皆様方のご支援、ご協力によって、おかげさまで早期に復旧することができました。このたび、復興事業の協力として、農水産物の放射線測定機2式を新地町に寄贈させていただくこととなりました。今後の新地町の復興に微力ながらもお役に立てることを嬉しく思うとともに、新地町の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

株式会社福島ニチアス 代表取締役社長 井郷 理史

【町内の空間放射線量測定】

町では、町内 24 か所で放射線量の独自調査を行いました。1月17日、24日の測定結果は次のとおりです。

(μ Sv/h)

	測定場所	地表面	測定値	
			17日	24日
1	福田小学校	土	0.20	0.20
2	福田保育所	土	0.13	0.12
3	木崎公会堂	土	0.38	0.36
4	北原工業団地	砂利	0.31	0.25
5	鈴宇峠県境	砂利	0.36	0.26
6	沢口ふれあい広場	芝	0.38	0.28
7	狼沢集会所	土	0.31	0.31
8	新地小学校	土	0.22	0.19
9	尚英中学校	土	0.29	0.24
10	新地保育所	土	0.20	0.20
11	鹿狼山登山口駐車場	砂利	0.37	0.34
12	今泉農集排処理場	砂利	0.13	0.13
13	総合公園こどもの森	芝	0.48	0.40
14	新地浄化センター	芝	0.32	0.34
15	岡公会堂	舗装	0.16	0.15
16	杉目集会所	舗装	0.20	0.17
17	大戸緑地広場	舗装	0.20	0.17
18	新地町役場	舗装	0.16	0.15
19	菅谷公会堂	土	0.33	0.32
20	駒ヶ嶺小学校	土	0.27	0.26
21	駒ヶ嶺保育所	土	0.16	0.13
22	大沢北国道 113 号県境	砂利	0.26	0.20
23	藤崎公会堂	砂利	0.28	0.26
24	富倉公会堂	舗装	0.14	0.13

※測定は毎週火曜日

地上 1 m (3 保育所は 50cmの高さ)

※町ホームページでも測定結果を公表しています。

【食品などのスクリーニング検査】

町では、消費者の身近な食品等についてスクリーニング検査を行い、町民のみなさまが消費する食品の安心・安全を確保します。個人持込の食品のスクリーニング検査結果は次のとおりです。

【測定結果(抜粋)の最大値・最小値】(1月10日～25日検査分)

名称	放射性物質測定値(単位: Bq/kg)						検査総数
	ヨウ素 131		セシウム 137		セシウム 134		
	最大	最小	最大	最小	最大	最小	
玄米	ND	ND	14	ND	ND	ND	4
白米	ND	ND	12	ND	ND	ND	9
水	15	ND	25	ND	ND	ND	23
タマゴ	ND	ND	14	14	ND	ND	1
ダイズ	ND	ND	29	29	ND	ND	1
ウメ	ND	ND	63	53	58	57	2
カボチャ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2
カリン	ND	ND	47	47	12	12	1
キャベツ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2
キュウリ	ND	ND	23	23	ND	ND	1
クリ	ND	ND	64	64	35	35	1
コンニャク	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1
サツマイモ	ND	ND	15	15	ND	ND	1
ジャガイモ	ND	ND	23	ND	16	ND	8
セリ	ND	ND	33	33	ND	ND	1
ダイコン	ND	ND	14	ND	ND	ND	6
ナガイモ	ND	ND	22	ND	ND	ND	1
ニンジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1
ネギ	ND	ND	62	ND	ND	ND	3
ハクサイ	ND	ND	23	ND	ND	ND	12
ホウレンソウ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1
レタス	ND	ND	13	13	ND	ND	1
カキ	ND	ND	56	48	40	26	4
キウイフルーツ	ND	ND	64	38	37	ND	4
デコポン	ND	ND	12	12	ND	ND	1
リンゴ	ND	ND	12	12	ND	ND	1
ユズ	ND	ND	124	124	78	78	1

検査機器の検出限界値が 10Bq/kg のため、

10Bq/kg 以下の数値は ND (ND ≤ 10) と表示しています。

暮らしの情報



社会福祉協議会 臨時職員募集

新地町社会福祉協議会で
は、次のおり臨時職員を
募集します。

- 募集内容・人員
生活支援相談員 1名
- サポートセンター
サロン活動支援員 2名
- 雇用期間
4月1日～3月31日
- 選考方法 書類審査
- 申込方法

新地町社会福祉協議会に
ある申込用紙に必要事項を
記入のうえ、提出してくだ
さい。

申込期限 2月29日(水)
◎問い合わせ
新地町社会福祉協議会

(☎②4213)

税の無料相談

毎年2月23日は「税理士
記念日」です。

東北税理士会相馬支部で
は、記念行事の一環として、
税理士による「税の無料相
談」を行います。お気軽に
ご相談ください。

日時 2月23日(木)
10時～16時

場所 ジャスコ相馬店

◎問い合わせ

東北税理士会相馬支部

(☎③6951)

相馬税務署からの お知らせ

平成23年分
所得税の確定申告

次のおり、平成23年分
の所得税の確定申告が行わ
れています。本年は、東日

本大震災により被害を受け
られた方の所得税の還付や
軽減・免除などの手続き等
により、例年よりも会場が
混雑することが予想されま
すので、申告はお早めにお
願います。

確定申告書作成会場

相馬市振興ビル6階

相馬市中村字塚ノ町65・16

※お車でお越しの方は相馬
駅東側（法務局隣り）臨時
駐車場をご利用ください。
（会場まで徒歩10分程度）

開設期間

3月15日(木)まで

※土・日・祝日を除く。

開設時間 9時～16時

※相馬税務署および昨年ま
での会場の「相馬市コミュ
ニティセンター」には申告
書作成会場を設置していま
せんので、ご注意ください。

東日本大震災により
被災された方へ

震災により住宅や家財、
自動車などに被害を受けた
方は、雑損控除等の適用に

より所得税の還付や軽減・
免除を受けられる場合があ
りますので、ご相談くださ
い。

公的年金を 受給されている方へ

公的年金等の収入額が
400万円以下で、かつ公
的年金等にかかる雑所得以
外の所得金額が20万円以下
である場合には、所得税(国
税)の確定申告書を提出す
る必要がなくなりました。

※この場合であっても、所
得税の還付を受けるための
確定申告書を提出すること
ができます。また、所得税

の確定申告が必要ない場合
であっても、住民税の申
告が必要な場合があります。
住民税に関する質問
は、新地町税務課(☎②
2119)にお問い合わせ
ください。

◎問い合わせ
相馬税務署

(☎③3111)

町の始末は
飼い主の責任です

町内で、犬のフンが放置され
ていることが多くなっていま
す。飼い主の責任として、フ
ンの始末をお願いします。

デジサポ福島
地デジに関するお問い合わせ

でんわ急げ!
デジサポへ

電話番号の
おかけ間違いに
ご注意ください!

☎ 024-505-1010

岩手、宮城、福島の3県のアナログ放送は、
2012年3月31日に終了します。

誕生おめでとう

(平成23年12月21日～平成24年1月20日)

(子ども) (親) (地区)

暁 希 山田浩章・奈美 新地町

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

ご冥福をお祈りします

(平成24年12月21日～平成24年1月20日)

(名前) (年齢) (地区)

小野ハナイ	88歳	釣師
山下 邦夫	58歳	富倉
鈴木 キヨ	85歳	駒ヶ嶺町
泉沢 秀雄	87歳	杉目
金沢アサヨ	91歳	城内
寺島 成江	91歳	大戸浜
森 ミサ	92歳	富倉
管野マツノ	88歳	埴浜
滝波 博	60歳	今泉
佐藤 重三	92歳	中里
加藤 智夫	84歳	小川
早坂エナ子	83歳	大戸浜
泉田 七郎	69歳	小川
寺島 ヨシ	85歳	小川
佐藤ふく子	77歳	原相善

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

人の動き

住民基本台帳

人口／8,092人(－18)
 男／4,011人(－6)
 女／4,081人(－12)
 世帯数／2,594世帯(±0)
 1月1日現在()は前月比

自衛隊 幹部候補生募集

防衛省・自衛隊では、次のとおり幹部候補生を募集します。

【一般・技術幹部候補生】

(飛行・音楽要員を含む)

応募資格

・20歳以上26歳未満(22歳未満は大卒者(見込み含む))

・大学院(専門職大学院を除く)修士課程修了者(見込み)は28歳未満

(海上自衛隊技術幹部候補生は、理学または工学課程修了者に限る)

【歯科・薬剤科幹部候補生】

応募資格

歯科

専門の大学卒(見込み)で

20歳以上30歳未満

薬剤師

専門の大学卒(見込み)で

20歳以上28歳未満

【共通事項】

受付期限

4月27日(金)締切日必着

試験期日

1次

5月12日(土)・13日(日)

(13日は飛行要員のみ)

2次

6月12日(火)～15日(金)のうち

指定する日

3次

7月9日(月)～8月9日(木)

(飛行要員のみ)

入隊 平成25年3月下旬～4月上旬

◎問い合わせ

自衛隊福島地方協力本部

相双地域事務所

(☎)4712

母と子の健康 (2月5日～3月5日)

健康診査	対象者	日時(受付時間)
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	2月17日(金) 3月2日(金) 9:00～10:00
10か月児・1歳児健診	23年4・5月生 22年12月・23年1月生	2月6日(月) 13:00～13:15
1歳6か月児健診	22年5月～7月生	2月20日(月) 13:00～13:15

場所：保健センター

◎問い合わせ 保健センター (☎)2096

たんぼぼひろば

期日	内容	場所
2月15日(水) 3月14日(水)	ひな人形をつくろう 閉講式・人形劇	児童館 児童館

◎活動時間は10時からです

◎月～土(10時～12時)は「なかよしひろば」として児童館を開放していますのでご利用ください。

平成 24 年度町県民税申告・平成 23 年分所得税確定申告

町県民税申告と所得税申告の時期となりました。申告方法等については、1月下旬に各家庭に配布した「申告のお知らせ」をご覧ください、各地区の指定日（下記受付日程表）に申告してください。

なお、指定日に申告できない方のために夕方の受付（2月24日、3月2日の17時30分～18時30分）と休日の受付（3月4日）も行います。また、3月12日までの指定日に申告できなかった場合は、3月13日、14日、15日に申告してください。

◎問い合わせ 税務課（622119）

<受付日程表>

日程表は、広報しんち1月20日号と一緒に配布した「申告のお知らせ」に掲載したものと同じです

時 間 【午前】9時～11時30分 【午後】13時～16時 【夕方】17時30分～18時30分

場 所 役場1階 101・102会議室

月	日	曜	時間	地区
2	15	水	午前	沢口
			午後	鉄炮町・大山田
	16	木	午前	明地
			午後	中里
	17	金	午前	下真弓
			午後	上真弓・木崎
	20	月	午前	埴浜
			午後	作田
	21	火	午前	杉目1班～4班
			午後	杉目5班～9班
	22	水	午前	新地町1班～5班
			午後	新地町6班～14班
	23	木	午前	新地町15班～22班 町営住宅・愛宕苑
			午後	今泉・小川1班～4班
	24	金	午前	小川5班～9班 町営住宅・定住促進住宅
			午後	小川10班～15班 町営住宅・定住促進住宅
			夕方	指定日に来ることができない方
27	月	午前	大戸浜旧1班～6班	
		午後	大戸浜旧7班～13班	
28	火	午前	釣師旧1班～6班	
		午後	釣師旧7班～13班	
29	水	午前	岡1班～5班	
		午後	岡6班～13班	
3	1	木	午前	高田1班～2班 駒ヶ嶺町1班
			午後	高田3班～6班 駒ヶ嶺町2班～5班 ・アパート

月	日	曜	時間	地区
2	金		午前	菅谷1班～4班
			午後	菅谷5班～10班
			夕方	指定日に来ることができない方
4	日		午前	休日申告
			午後	指定日に来ることができない方
5	月		午前	新町1班 今神1班～2班
			午後	新町2班 今神3班～4班 町営住宅・アパート
6	火		午前	中島旧1班～3班
			午後	中島旧4班～6班・アパート
7	水		午前	城内1班～2班 渋民1班～2班
			午後	城内3班～6班 渋民3班～4班
8	木		午前	藤崎1班～3班
			午後	藤崎4班～5班・駒ヶ嶺駅前地区
9	金		午前	藤崎6班～7班・上ノ町
			午後	富倉1班～2班 原相善1班
12	月		午前	富倉3班・原相善2班
			午後	富倉4班～5班 原相善3班
13	火		午前	まだ申告していない方 (混雑予想日)
14	水		午後	
			午前	
15	木		午後	

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の無料化が

これまでの70歳以上の方に加え

65歳から69歳の方も対象となりました。

福島県補助事業

- 肺炎は日本人の死因の第4位です。75歳を超えると、肺炎による死亡率は男女とも急激に増加します。
- 肺炎は細菌やウイルスなどが原因で引き起こされますが、その中で最も多い原因が肺炎球菌によるものといわれています。肺炎球菌による肺炎を予防するには、予防接種が有効です。
(肺炎球菌によって引き起こされる肺炎のうち、約80%に対して予防効果が期待できるとされています。)
- 肺炎球菌ワクチン接種は予防接種法に基づかない、任意の予防接種です。医師の説明を受け、十分に納得した上で接種を受けてください。

新たな対象者 新地町に住所を有する方で
65歳以上69歳の方
昭和17年4月2日
～昭和22年4月1日生まれ

※70歳以上の方もこれまでどおり対象となります

費用 無料

助成期間 平成24年3月31日まで
(23年度のみ助成です)

**！ 再接種の場合は
医師によくご相談ください**

- 肺炎球菌ワクチンは、通常5年程度有効
(免疫が持続する)と考えられています。
- 再接種は、前回の接種から5年以上経過している場合に、本助成事業の対象となります。

接種実施医療機関 (平成24年1月25日現在情報)

町内医療機関			
遠藤内科医院	☎②2135	菅野医院	☎③2388
相馬市内医療機関			
阿部クリニック	☎③2553	相双眼科医院	☎③6877
あらい産婦人科クリニック	☎③0303	相馬中央病院	☎③6611
井口医院	☎③62422	菜のはなこどもクリニック	☎③68739
大石医院	☎③3451	羽根田医院	☎③2970
柏村内科胃腸科	☎③6636	早川医院	☎③73500
金子医院	☎③3202	浜通りふれあい診療所	☎②67100
公立相馬総合病院	☎③65101	米村胃腸科内科医院	☎③2880
杉本医院	☎③63650	わたなべ内科・胃腸科	☎②65061
すぎやまこどもクリニック	☎②65111	ふなばし内科クリニック	☎③1500
八巻クリニック	☎③78815		

- ※事前に電話予約をしてから受診してください。
- ※身分を証明できる保健証等を持参してください。
- ※県外の医療機関で予防接種を受けられた場合は、保健センターにお問い合わせください。

◎問い合わせ 保健センター☎②2096

復興 生涯学習フェスティバル&文化祭

2月25日(土)・26日(日)

会場 農村環境改善センター・保健センター

生涯学習フェスティバル・文化祭は、町が実施している各種教室や、公民館・勤労青少年ホームを利用しているクラブ・団体、文化協会所属団体が、日ごろの学習成果を発表するイベントです。

みなさんが参加できる各種体験コーナーやお菓子の無料配布もありますので、お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

<スケジュール>

2月25日(土)9時～16時

- ・各種体験コーナー
- ・お菓子の無料配布
- ・手づくり作品等の販売
- ・各種教室・クラブ・文化団体の作品、写真展
- ・ダンスパーティー（18時30分～20時45分）

2月26日(日)9時～15時

- ・学習発表
- ・手づくり作品等の販売
- ・各種教室・クラブ・文化団体の作品、写真展

◎問い合わせ 生涯学習課 (☎②2085)

イタリアから新地町へ
音楽でつなぐ明日への希望

新地町楽器贈呈式記念 スペシャル・コンサート

シチズン時計株式会社とシチズンイタリアから町内の小中学校へ楽器が寄贈されます。

これを記念して、次のとおりコンサートが行われます。入場は無料です。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 2月10日(金) 13時30分～

場所 尚英中学校体育館

内容 贈呈式
演奏
(THE WIND WAVE、尚英中吹奏楽部)

◎問い合わせ 教育委員会 (☎②4477)

歴史講座開催

町教育委員会と新地町郷土史研究会では、次のとおり「新地町歴史講座」を開催します。

昨年、町を襲った東日本大震災による津波被害。「津波の事典」「大地が震え海が怒る」の著者、東北大学名誉教授首藤伸夫さんに映像資料などをまじえわかりやすくお話いただきます。

入場は無料です。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

日時 2月12日(日) 13時30分～

場所 農村環境改善センター

演題 「東日本大震災について」

講師 東北大学名誉教授 首藤 伸夫 氏

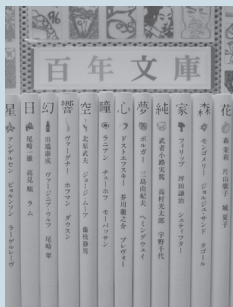
◎問い合わせ 教育委員会 (☎②4477)

図書館へ行こう

=新着本のご案内=

◎一般書

『百年文庫 (全100巻)』 ポプラ社/出版



日本と世界の文豪による名短篇を、漢字一文字の趣に合わせて一冊に編んだアンソロジー。一冊で三人の文豪の作品が味わえます。1の「瞳」は、太宰治「女生徒」、ラディゲ「ドニイズ」、久坂葉子「幾度目かの最期」を収録。

『孤鷹の天』 澤田 瞳子



この国を必ずや、よい国にするのだ。国を憂い、理想に殉じた若者たちの眩しいまでのひたむきさを描く。遷都1300年、奈良の都を舞台に繰り広げられる青春群像劇。

- 『ポニーテール』 重松 清
『小説ロボジー』 矢口 史靖
『日本の課題40』 池上 彰
『ニッポンのここがスゴイ!』 堤 和彦
『ビジネスマンが読む子どもが勝ち組になる本』 和田 秀樹
『中学英語が7日間でマスターできる本』 小池 直己
『脳梗塞の治し方・防ぎ方』 岡田 芳和
『老眼は「脳のトレーニング」で回復する』 本部 千博
『賢者の本棚』 プレジデント編集部
『それぞれの戊辰戦争』 佐藤 竜一
ほか

◎CD

- 『LOVE SONG BEST』 CRYSTAL KAY
『ファンキーモンキーベイビーズ4』 FUNKY MONKEY BABYS
『こどものためのクラシック』 仙台フィルハーモニー管弦楽団

◎児童書

『子どもたちができるかんたんエコ101』 ジャッキー・ワインズ



「こまめに温度調節しよう」「まとめ買いをしよう」「近くだったら歩いていこう」など、未来の地球を守るために、きみたちができるかんたんで効果的な101の方法を紹介。

『アリスのふしぎな夢』 ルイス・キャロル/原作
マルト・スガン=フォント/絵



木陰で眠る間に不思議な夢を見たアリス…。キャロル自身が子ども向けにやさしくわかりやすいことばで書き改めた「不思議の国のアリス」を、美しく幻想的な絵で紡ぎ出します。

- 『日本の基本問題を考えてみよう』 中馬 清福
『高校生活100のアドバイス』 東海林 明
『きぼう』 ローレン・トンプソン
『かいけつゾロリ はなよめとゾロリじょう』 原 ゆたか/作・絵
『忍たま乱太郎 にんじゅつ学園の文化祭の段』 尼子 騷兵衛/原作 望月 千賀子/文
ほか

図書館カレンダー (2月)

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	3月1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

■は休館日



携帯電話から図書館資料の検索ができますので、ご利用ください。また、ご来館され、メールアドレスとパスワードをご登録されますと予約もできます。

※詳しくは図書館までお問い合わせ下さい。

生つ出
まな会



地域伝統芸能まつり出演

【福田十二神楽】

第21代神楽師

佐藤 一輝

鈴木 正彦

鈴木 健哉

佐藤 晴樹

志筑 康太

佐藤 悠太

野地 聡

荒 勇生

佐藤 賢

畠山 大

林 英志



今月の表紙

福田十二神楽

NHKホール（東京都）へ

毎年、福田諏訪神社の例大祭で奉納される『福田十二神楽』が、東京都のNHKホールで開催される『地域伝統芸能まつり』に出演します。

福田十二神楽は、毎年5月3日と11月3日に神社に奉納される伝統の神事で、神楽師となる地域の若者によって受け継がれています。

今回は、第21代神楽師のみなさんにより「四方固めの舞」と「三剣舞」が披露されます。

地域伝統芸能まつりは、2月25日・26日に開催され、福田十二神楽は、初日の2番目に出演します。このほか、全国の9地域に根づく伝統芸能と古典芸能が披露されます。



CONTENTS

- 2 復興計画が決定
- 6 環境未来都市に選定
- 8 成人式
- 10 まちの話題
- 16 申告日程
- 20 福田十二神楽 神楽師

発行と編集 新地町役場企画振興課 ☎ 0244-62-2112 FAX 0244-62-3194

Eメール koho@shinchi-town.jp

〒 979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 30 番地